

医学概論 II

オーガナイザー

教育研究開発センター 教授 村田 顕也

教育研究開発センター 講師 佐々木 洋子

I 一般学習目標

医学は、病める人の治療はもちろんのこと人々の健康の維持増進を図ることを目標としている。この目標を達成するために、専門職集団である医師には、医業の独占権や自律権や経済的報酬が社会から与えられ、一方社会に対しては、患者の福利優先の原則、患者の自律性に関する原則、社会正義の3原則に加えてプロフェッショナルとしての能力に関する責務を負っている。医学概論 II では、専門者集団（プロフェッション）と社会との契約を理解し、医師の職業倫理を学ぶ。

II 個別学習目標

1. 医師の基本的責務について説明できる
2. 医師患者関係について説明できる。
3. 医師とその他の医療関係者と連携が理解できる。
4. 医療職（医師（キャリア教育を含む）、看護師、保健師、臨床工学技士、理学療法士・作業療法士など）の役割とチーム医療の一員として医師に要求されることが理解できる。
5. 医師と社会との関係が理解できる。
6. 医療と法律（患者の自己決定権を含む）について説明できる。
7. 臨床倫理の基本的問題が理解できる。
8. 死生学について理解できる。
9. 災害医療の現状と課題を概説できる。
10. 人を対象とする医学研究に関する倫理指針・臨床研究法が理解できる。
11. 臨床研究を行う上でのノウハウや研究の質の担保、国際発信への仕方について理解できる。
12. 知的財産管理や医療シーズを知的財産にし、特許出願まで進める方略が理解できる。
13. 医師のキャリアについて考える事ができる。
14. 医師のワークライフバランスを考える事ができる。

III 教育内容

上記の内容を本学教員および外部講師によるオムニバス形式で行う。

IV 学習および教育方法

講義を中心とし、事例検討やグループワーク演習も取り入れる。

V 評価の方法

各講義のレポート（70%）と授業への出席および授業態度（30%）により評価する。

講義日程表 ※日程・内容等変更することがあります。

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R4.11.17	(木)	3	医師の基本的責務 プロフェッショナリズム	教育研究 開発センター	村田 顕也
2	R4.11.17	(木)	4	医師と患者、医師相互の関係、医師とその他の医療者	教育研究 開発センター	村田 顕也
3	R4.11.24	(木)	3	未定		公募
4	R4.11.24	(木)	4	死生学	月山チャイルド ケアクリニック	窪田 昭男
5	R4.12.1	(木)	3	医療と法律 (医療の倫理規範、患者の権利、医師法)	教養・医学教育 大講座(法学)	神谷 隆一
6	R4.12.1	(木)	4	臨床倫理入門1(症例提示とグループワーク)	輸血部	西川 彰則
7	R4.12.8	(木)	3	臨床倫理入門2(症例提示とグループワーク)	輸血部	西川 彰則
8	R4.12.8	(木)	4	未定		公募
9	R4.12.15	(木)	3	未定		公募
10	R4.12.15	(木)	4	未定		公募
11	R5.1.5	(木)	3	人を対象とする研究	臨床研究センター	下川 敏雄
12	R5.1.5	(木)	4	未定		公募
13	R5.1.12	(木)	3	医師におけるワークライフバランス	島根大学地域医療 支援学講座	佐野千晶
14	R5.1.12	(木)	4	災害医療(在宅人工呼吸器装着者の災害対策)	和歌山市保健所	谷井 朋子